

# 令和7年度 第3回 名西高等学校 学校運営協議会 議事録（案）

- 1 日 時 令和8年2月25日（水）  
午後2時から午後3時40分
- 2 場 所 名西高等学校 会議室
- 3 参加者  
河崎会長、西岡委員、田中委員、小林委員、手束委員、安達委員、黒川委員、  
大久保副会長、竹田教頭、正木教頭、村上教頭、佐藤教務課長、  
横田進路課長、吉田芸術科長  
（欠席：久米委員、喜多委員、臼井委員、阿部総務課長、村山生徒指導課長）

## 4 内 容

- (1) 会長挨拶  
(2) 学校長挨拶  
(3) 協議

### (ア) 本年度の重点取組について

大久保校長より次の項目について説明を行った。

#### 【本年度の重点取組】

- ①普通科の魅力化
- 総合的な探究の時間成果発表会「藤波発表会」
  - 歯科保健生徒事業
  - 国府支援学校小学部での野球教室
  - 「1日サイバー犯罪対策官」委嘱式とサイバーセキュリティ教室」
  - 台湾国立羅東高級中學との姉妹校交流
  - 名高一地域社会貢献プロジェクト
- ②芸術科の魅力発信
- 第5回名西高校フェスティバル
  - 「ラッピングバスお披露目会および記念走行」
- ③定時制での社会的自立への取組
- エシカル教育・消費者教育
  - 名高こども食堂（全定合同）
  - 人権教育講演会
  - 総合的な探究の時間

#### 【生徒発表】

タイトル 「名高一地域社会貢献プロジェクト」について

発表者 美術コース2年 元木 日和・田村 優太郎

今年度、美術コース2年生が県の事業である『とくしま生徒まんなか探究活動推進事業』で取り組んだ探究活動の成果を発表した。本活動は、関係の深い地域のお店にご協力いただきながら、「高校生のデザインは地域のお店にどのように役立つのか」という問いを立て、地域社会に貢献するというプロジェクトである。

学校運営協議会の中で生徒が発表を行い、実際に生徒の声を直接聞くことができ、関わりを持てたことは大変良かったと思う。委員の方々からも好評であった。

#### 【発表に対しての質問と感想】

Q1. 取り組む中で何か困ったことはなかったか？

A1. 事業の当初、お店に電話をかけて、プロジェクトの説明をしたのですが、普段あまり大人の方と電話で話す機会もなかなかないので、緊張もしたし、丁寧に分かりやすく説明をするのが、大変でした。

Q 2. 実際の仕事になれば、納期や費用の話もすると思うが、今回のプロジェクトでは費用の話も相手としたのか、またどれくらいの期間をかけて、制作に取り組んだのか？

A 2. 費用については、先生が担当してくれていたもので、相手（お店）との予算の話はなかったです。デザインの制作については、約2か月間で、計画段階から制作物の寄贈まで入れると、約半年間かけて取り組みました。

Q 3. 完成させたデザイン案を相手に提案するのは、どんな形で行ったのか？

A 3. できあがったデザイン案はプリントアウトして、紙の状態を持参し、お店の方に確認してもらいました。案がいくつかある場合はその中から選んでもらったり、修正箇所や提案などを受けました。それから完成したデザインを業者に発注し、実物をお店に寄贈しました。

感想：事前にこのような事業があると聞いていたので、実際にそのお店に行き、完成した看板を見ました。出来栄も良くて、生徒たちにとって、とても良い経験になって大変良かったと思います。

### (イ)「学校評価総括評価表」について

学校評価総括評価表について全日制は竹田教頭が、定時制は村上教頭がそれぞれ、その評価指標の達成度についての説明を行った。特に大きな指摘や問題もなく、承認された。

### (ウ) 意見交換

意見交換ということで、各委員さんからの総括、意見・感想等をいただいた。

#### 委員（PTA会長）

いよいよ私も子どもも3年生となり、今年3月1日に卒業を迎える。学校の取組の報告や生徒の発表を聞き、家庭教育とはまた違った角度からさまざまな体験をさせていただいたことに、心から感謝している。また先生方には、日々の業務に加えて研修もある中で、このような貴重な体験の機会を設けていただき、本当にありがたく思っている。PTAとしては、私自身は今年で任期を終えるが、現在の2年生・1年生のPTAの皆さんはとても良い雰囲気、素晴らしい方々ばかりなので、今後もそのPTAの皆さんと先生方、そして地域の方々とともに、名西高校をさらに盛り上げていくことを楽しみにしている。

3年間、本当にありがとうございました。

#### 委員（地元中学校長）

学校運営協議会に3回参加し、授業も参観する中で、落ち着いた環境のもと生徒が自己実現に向けて努力している様子が印象的であった。

#### 【質問】

○校則の見直しについて

名西高校では、校則の見直しに関して生徒から意見が出ることはあるか。また、これまでに見直した事項や、今後見直す予定のある事項はあるか。

⇒学校生活アンケートを通して生徒の意見を把握し、改善可能な点は対応している（女子制服へのズボン導入等）。一方で、現行ルールを守るべきとの意見もあり、多様な意見を踏まえ段階的に改善している。

○人権教育の課題について

現在、名西高校が課題として認識している人権課題にはどのようなものがあるか。

⇒重大な問題はないが、性の多様性への対応は重要課題と認識している。該当生徒には柔軟に対応し、生徒の気持ちを尊重する姿勢で取り組んでいる。

○保護者対応について

中学校では、校則の見直し等に関して生徒よりも保護者からの要望が多く、対応に苦慮する場面がある。名西高校では、保護者からの対応困難な要望等はあるか。

⇒保護者の意見は丁寧に聞くが、教員を守ることも重視している。受け入れるべき点是对应しつつ、学校として譲れない点は方針を示し理解を求めている。

○読書率の低下およびスマートフォンの影響について

読書率の低下は中学校でも課題であり、スマートフォンの普及が影響していると感じている。高校においても同様の傾向はあるか。また、スマートフォンが学力や生活習慣、生徒指導面に及ぼす影響について、どのように捉えているか。

⇒スマートフォン利用は課題であるが、利便性も踏まえ適切な使い方を指導している。SNS等への不適切投稿防止についても継続指導している。

### 委員（地元中学校長）

高校の魅力化の取組や地域貢献プロジェクトの発表を聞き、大変魅力的な学校であると感じた。こうした魅力を地元中学生へ積極的に発信してほしい。特に、体験入学は進路選択に大きな影響を与えている。実際に体験入学や部活動体験を通して進学を決める生徒もいるため、今後も体験の機会を充実させ、魅力を伝えてほしい。また、地元の高校として地元中学生を大切にしてほしい。

#### **【質問】**

○スクールポリシーにある「生徒会活動に積極的に取り組んだ経験のある生徒」について、高校入学後にその経験を生かせる活躍の場があるのか教えてほしい。

⇒本校の生徒会活動は、生徒主体で運営しており、教員は助言・支援の立場で関わっている。生徒が自ら企画・提案し、実現可能なものについて教員と協議しながら進める形をとっている。そのため、中学校で生徒会活動に積極的に取り組んだ生徒が入学後も主体的に関わり、自らの考えを発信してくれることを期待している。このような理由から、スクールポリシーにその内容を示している。

### 委員（学校医）

毎年これだけ多くの取組を計画し、実行していることは大変なことであると感じたし、それに応えている生徒は素晴らしいと思う。単元テストの導入も、学習内容の定着を図るうえで有効な取組であると感じている。対外的なイベントが多い点にも驚いたが、特定の生徒が継続して参加しているのか、それともできるだけ多くの生徒が経験できるようにしているのかが気になった。また、定時制の生徒の多くがアルバイトをしていることについては、働く経験を通して金銭の大切さや責任感を学ぶ良い機会になっているのではないかと感じている。さらに、定時制の生徒の登校率や授業参加率が高いことにも感心した。学校生活が充実しているからこそであると感じている。今後ともよろしくお願ひしたい。

### 委員（地元企業代表）

探究学習を通して約5年間生徒の変化を見てきたが、生徒の柔軟な成長を強く感じている。教員が丁寧に支援してきた成果が表れていると感じる。その一例として、将来消防士になるという明確な目標を持ち、進学後は地元に戻って働きたいと語る生徒の姿が印象的であった。自分の将来像をしっかり描いている生徒が育っていることは素晴らしいことである。一方で、現代社会はやや過保護な面もあり、生徒が自立する機会が少なくなっているのではないかと感じている。社会に出れば自分のことは自分で言い、責任を持って働くことが求められるため、そのギャップを埋めるような自立を促す教育も必要ではないかと考える。教員それぞれの特性を生かしながら、生徒のコミュニケーション力や主体性を育て、社会に出るための意識を

高める指導を今後も期待している。

### 委員（地元企業代表）

私自身も芸術科（美術コース）の卒業生で、現在は今日の発表内容と同じ分野を仕事にして生活している。だからこそ、どうしても芸術科に目が向くが、ここで学んだことは本当に役立っており、大きな誇りになっている。在学中は気づきにくいですが、基礎から絵を学び、地域と関わりながらデザインできる環境は、県内はもちろん四国でもなかなかない、非常に恵まれたものだと感じている。今回のプロジェクト発表を聞き、地域との関わりが以前よりも増えていると感じた点はとても良いことだと思う。ただ、事例が飲食関係に偏っていたことが少し気になった。実社会では企業案内や建築、福祉など、デザインの分野は幅広い。だからこそ、高校では写真を見て描くのではなく、実物を見てデッサンするなど、基礎をしっかり固めることが何より大切だと思う。また、仕事としてのデザインは、自分の好きなものを描くこととは全く違い、相手が求めるものを形にする力が必要である。そのためには多くの経験と引き出しが必要だと強く感じている。今後も可能であれば、こうしたプロジェクト型の取組を授業に取り入れ、実践的な経験を積ませてほしいと思う。

### （エ）その他

その他として、事務局より、来年度から導入される「徳島県地域学校協働活動推進員」について説明した。

---

以上のように、今回が今年度最終となる第3回学校運営協議会では、委員の皆さまからたくさんの貴重なご意見をいただくことができました。いただいたご意見を検討し、今後も更に地域に根ざしたより良い学校を目指して様々なことに挑戦し、取り組んでいきたいと考えています。

委員の皆さま、一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。